

「京地どり」の初生ひなの出荷を開始

京都府が作出した地鶏である「京地どり」は、令和2年の新鶏種へのリニューアル以降、新たな飼養希望者が増加しています。

これに合わせて、京地どり生産・流通推進協議会では、京地どりの初生ひなの供給体制の強化を進めていますが、体制が整うまでの間、種卵やひな生産から肥育までを当センターが補完的にバックアップすることとしております。

8月13日には、第一弾となる初生ひなを2農場に計90羽譲渡しました。今後も健康なひなを生産し安定供給することで、「京地どり」の生産拡大に貢献します。



京地どりの初生ひなの様子